

2021年7月14日

沼津市長 頼重秀一 様

高尾山古墳を守る会会長 鈴木 博

## 高尾山古墳の保存整備に関わる要望書

昨今のコロナ禍の下ではありますが、着実に、都市計画道路沼津南一色線の道路整備が進められているものと、また、高尾山古墳の整備等についても国史跡指定の申請等に向け鋭意作業が進められているものと推察します。全国的にも注目されている道路・古墳整備計画です。今現在計画はどの段階まで進捗しているのか、会の会員はもとより、市民から関心が寄せられています。ついては、その進捗状況や到達状況についてお示しくделаいますよう、要望します。

- 1 昨年本会の要望に対し、昨年度は、4点について実施の計画である旨、回答をいただきました（沼企生166号 2020,10,13）。そのうち以下2点の達成状況はいかがでしょうか。
  - ① 沼津市文化財保護審議委員会への現状報告とその内容
  - ② 高尾山古墳発掘調査報告書2の刊行
  
- 2 今年度は、引き続き道路測量設計業務委託を実施、高尾山古墳の普及啓発を図ること、また、国史跡指定のための具申書作成のための準備作業を進めることになっていますが、その進捗状況はいかがでしょうか。現況をお示しくделаい。
  - ① 橋梁とトンネルの設計はもとより、古墳を含む周辺までを一体的な空間とした景観形成をはかるための道路設計や古墳の利活用を考慮した道路設計（注 都市計画道路沼津南一色線道路設計等に関する基本計画書（平成元年6月）4Ⅱ 今後の予定）など、契約会社の設計の進捗状況と会社との打ち合わせ、調整等の状況と今後の見通し
  - ② 設計施工に当たっては高尾山神社社務所の移転等が不可欠であると思われませんが、それに関わる地元との協議の状況
  - ③ 高尾山古墳国史跡指定具申書作成検討委員会の活動状況、文化庁との協議の概要と今後の見通し
  
- 3 文化財の保存では、文化財保護法により、市区町村ごとに文化財保存活用地域計画を立案することになっていますが、沼津市では現在どのように取り組まれているのか、お示しくделаい。
  
- 4 近年、文化財センターでは、沼津の遺跡やセンターの活動について普及啓発や情報提供に力を注いでいることを承知していますが、情報が市民のものになっていないのではないかと考えます。市の文化遺産に対する市民の認識や郷土への誇りなどを高めるために、講演や広報ぬまづ等各種メディアを活用し、いっそう情報提供していくことを望みます。

以上7項目の要望事項に、8月末日までに具体的に回答くださいますようお願い申し上げます。